

「静岡型」の特色とは

「静岡型」の特色

静岡型小中一貫教育カリキュラム【基本的な考え方】

- (1) 「たてのつながり」と「よこのつながり」を手段として構想する教育課程の推進
- (2) 「4つの視点」から編成・実施する教育課程の推進
- (3) 地域ならではの特色ある教育（独自性）の推進

特色1：「たてのつながり」と「よこのつながり」を手段として構想する教育課程の推進

【中島中グループ例】

小中学生に地域防災にもっと参加してほしい



地域の願い

地域の課題である「防災」について、学校と地域が一緒になって子どもたちを育てていくことが大切



小中一貫教育準備委員会

- ・ 目指す子どもの姿の共有
- ・ 小中一貫教育の取組に関する協議

子どもたちに防災について、しっかり学ばせる必要がある



学校の考える課題

よこのつながり

学校と地域の連携による防災の取組

R1~



地域の方へ防災訓練を提案（中・地域）



地域防災訓練への参加（小・中・地域）

さらに子どもたちが地域防災に参画し、探究的な学びをすることができないか



学校の考える課題

学校が地域とともに学校の教育目標（目指す子どもの姿）の実現に向け、教育構想をもとに連携する際、児童生徒を地域で育成するという観点から、地域と学校が互惠関係を生み出し、持続可能な教育活動にしていくことが子どもたちの力を伸ばすためにはとても重要です。

たてのつながり

小中の教職員協働による「9年間の防災カリキュラム」の編成、実施



H29~

9年間の防災カリキュラム



地域防災の日（小・中・地域）



防災マップづくり（小）



防災ボックスづくり（小・中）



防災学習発表会（小・地域）

特色2：「4つの視点」から編成・実施する教育課程の推進

【視点1】 学校の教育目標の共有

(指標1) 「学校の教育目標（めざす子どもの姿）」の共有

(指標2) 「重点目標」の設定

(指標3) 小中一貫教育構想図の作成

【視点2】 9年間を見通した教育課程の編成、実施

(指標4) 各教科の系統性を生かした授業改善

教育センター作成「各教科の小中一貫系統表（資質・能力）」を活用した授業改善

(指標5) 軸となる取組を踏まえた系統的指導

各グループならではの特色ある教育活動の実践（キャリア教育、防災、生活指導等）

(指標6) しずおか学への取組

地域性に応じた、系統的な「しずおか学」の推進（お茶、歴史文化、オクシズ 等）

「つながる力」の育成

【視点3】 教職員の協働、児童生徒の交流

(指標7) 小中合同の組織づくり

・小中一貫教育の組織図
・小中一貫教育指導部会表 等

(指標8) 計画的な小中合同研修

・教職員合同研修会
・分掌別打合せ 等

(指標9) 児童生徒の交流

・部活動体験、一日体験入学
・ICTを使った学校間交流 等

【視点4】 地域との連携

(指標10) 小中一貫教育準備委員会の定期的開催

・地域と目指す子どもの姿を共有
・地域の教育力を開発

(指標11) 小中一貫教育の学校評価システム

・地域を交えた学校評価の実施
・地域と一緒にP D C Aサイクル実施による検証・改善

(指標12) 小中一貫教育についての地域発信

・小中一貫教育を学校から地域に発信
・小中一貫教育だよりの発行 等

特色3：地域ならではの特色ある教育（独自性）の推進

地域の特色や願い、児童生徒の実態等を踏まえた「軸となる取組」の設定例

地域の願い：地域を愛する人になってほしい

軸となる取組：「〇〇学（地域学習）」

具体的な活動：

- ・系統的な指導計画の作成
- ・地域の特長や歴史等の調査活動
- ・地域に向けた提案、発信



児童生徒の課題：人間関係づくり

軸となる取組：「ソーシャルスキルの向上」

具体的な活動：

- ・グループ共通の系統表作成
- ・小中合同のソーシャルトレーニング
- ・地域に広げるあいさつ活動



児童生徒の課題：自己肯定感が低い
（全国学力調査等の結果より）

軸となる取組：「道徳教育の充実」

具体的な取組：

- ・系統的な道徳指導計画の作成
- ・グループ共通の授業スタイル
- ・地域人材の活用



目指す子どもの姿：世界に羽ばたく人

軸となる取組：「英語力の向上」

具体的な取組：

- ・グループで共通した指導法の研究
- ・地域の外国人との交流
- ・ICTを活用した海外との交流



「その地域ならではの教育」を推進する「軸となる取組」は、地域の特色や地域の願い、児童生徒の実態（強み、課題）等を踏まえ、目指す子どもの姿を実現することを目的として設定します。